



あっという間に師走となりました。2021年もコロナに振り回された1年でしたね。制限された生活は相変わらずですが、秋には学会への参加など2020年にはできなかったことができました。久しぶりの学会で刺激を受け、クリニックでの臨床に生かすべく勉強をしなければ、と『Foundation of Aural Rehabilitation』という本を読み直しているところです。難聴のある人が他者と上手くコミュニケーションを取るための方法が書かれている本です。皆さまのお役に立てるよう頑張ります。

認定言語聴覚士

さて、カスタネット通信7月号と10月号にはSTの臨床実習生のはなし、9月号と11月号にはオギジビSTとことばの教室や難聴学級の先生方との交流についてのはなしを書きました。12月号では「認定言語聴覚士」についてご紹介したいと思います。

臨床経験が5年を超え、日本言語聴覚士協会というSTの職能団体が用意する「基礎プログラム」と「専門プログラム」という課程を修了すると「認定言語聴覚士講習会」に参加することができ、試験に合格すると「認定言語聴覚士」として登録されます。摂食嚥下障害、失語・高次能機能障害、言語発達障害、聴覚障害、成人発声発語障害の5領域があります。オギジビSTの2人が何をしているかと言いますと、この講習会(聴覚障害領域)の実行委員を勤めています。実行委員の役割は講義プログラムの作成、講習会当日の運営、そして講師などです。



左の写真は私たちが講義を行っているところです。元々は昨年度開催する予定だったのですが、コロナ禍で中止となり今年度は全日程オンラインで開催されることになりました。私はZoomを使っての講義は初体験だったので、要領を掴むまで苦労しました。

言語聴覚士室1から全国に向けて配信しました。

90分間自分が作ったスライドが映る反応の返ってこないパソコンの画面に向かって、感情を込めて話をするのはとても根気がいる作業でした。長くオンライン講義が続いた(続いている?)学生や教員の苦労を身をもって知りました。

私たちが行った講義のひとつは「成人難聴者のコミュニケーション、評価と訓練」です。難聴のある人が聞きにくい状況に陥ったとき、どのように聞き返せば良いか、どうすれば聞きやすい環境を作り出せるか、対話者はどのように話せば難聴者が聞き取りやすいか、といったことを動画を見ながら考えてもらいました。なかなか面白い動画が出来上がったので、種類を増やしながら補聴外来にも導入できたら良いなと思いました。



聞き誤り、聞き逃しが起こりがちな台所、居間での夫婦の会話場面を動画にしました。



クリスマスのしたく

クリニックは少し前からクリスマス仕様になっています。言語聴覚士室の扉にかけてあるオーナメントとオギジビ文庫のクリスマス飾りの今年のテーマは、「くるくる巻く」です。紙をくるくる巻いたり、フェルトをくるくる巻いたりして作りました。オーナメントの材料は全て100均で購入できます。ハサミとボンドがあれば作れるのでお勧めです！



さて、自宅でのクリスマスのしたくとして、クリスマスカウントダウンカレンダーティーを買いました。開けるとお菓子が出てくるアドベントカレンダーのおとな版といったところでしょうか。毎晩ゆったりとした気持ちでハーブティーを飲みたいと思います。ところで、お茶といえばお水ですが、最近自宅の近くで地下水をもらい飲んでいました。長〜い時間をかけて富士山の方から流れてきているとのことでした。これまでは水を購入して、水出しのコーヒー・紅茶・緑茶を作っていたのですが、これからはこちらの水を使わせていただきます！先日はガラス瓶に茶葉

を入れ、そこに直接水を入れて帰ってきました。いちいち水をもらいに行くのは面倒なのでは？と思われるかもしれませんが、かさばるプラごみ削減ができることもメリットの1つです。「潤水都市さがみはら」に住んで20年くらいになりますが、まだまだ知らないことがたくさんあるなあと思いました。(井上理絵)

私のだいじなカポック、これからもよろしく！

凜と立って咲く花の姿が大好きで、この時期シクラメンをあちこちで見かけるのが楽しみです。小椋佳が作り布施明が歌ってヒットした『シクラメンのかほり』という歌を何度となく聴き、いろいろイメージしながら歌った思い出も懐かしい。そんなわけで、鉢でシクラメンを買い、家で楽しみ、できれば翌年も咲いてほしいと頑張るのですが、結局いつも無残に枯れて終わるのですね、、、。

そんな私が10年以上付き合う奇跡的な鉢が一つあります。カポックという観葉植物です。殺風景な研究室の机の脇で、数枚の葉を四方に張る姿にいつも元気をもらっていました。大学を離れたのを機に家に持ち帰り、大きな鉢に植え替えたたん、モリモリ大きくなり、今では30センチ程の高さになりました。小さな鉢で長く我慢してたんだなあと労ってやりたい気持ちになりました。まあ、私の戦友のような奴なのです。これからも末永くよろしく！と、声掛けしながら水やりするこの頃です。(鈴木恵子)



おしらせ



診察室前の壁に貼ってあるポスターで、「聞こえ」「補聴器」についての情報をお伝えしてきました。この度、これまでのポスターを1冊にまとめたパンフレットを作成し、テレビの下の棚に置きました。ぜひ手にとってご覧ください。